I-③　改訂4-2

FULL HEIGHT DOOR®

INSET MODE　インセット枠

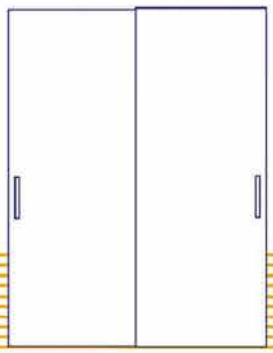
フルハイトドア®

施工手順書

引込み戸ポケット戸・2枚引違い戸　【上吊タイプ】

引込みポケット戸
上吊タイプ

2枚引違い戸
上吊タイプ



kamiya

作成：2013年6月1日
改訂：2021年1月22日

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください

⚠注意

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

○ 枠･下地枠の取付は、水平･垂直･ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
○ 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。

●ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

○ 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。

○ 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。

● 施工前及び施工時の確認

○ 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
○ 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった
施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
○ 高温･高湿の環境条件では使用できません。
○ 施工前に部材の数量･キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
○ 部材を保管する場合は湿気･直射日光を避け、十分な養生をしてください。
○ 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
○ 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
○ 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
○ 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ･破損･色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

○ お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
○ 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
○ 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
○ 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

Ikamiya
Full Height Door

□引き込みポケット戸(上吊)

forインセット枠

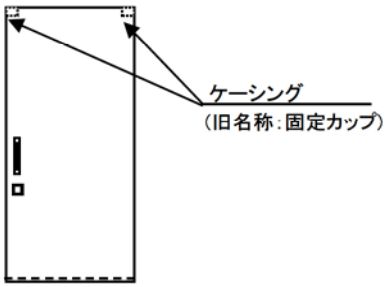
施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具

部材	数量	備考
引き戸	1枚	引手取付済み(スリット手掛けタイプはなし) ケーシング取付済み 木口引手取付済 鎌錠の場合は カセットのみ取付済み

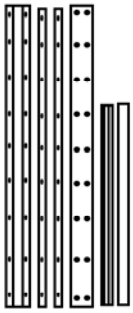


同梱品

鎌錠			
 ※鎌錠付の場合のみ1セット			

下地枠

部材	数量	備考
縦枠下地	1本	
中方立下地	2本	
片方立下地	1本	
上枠下地	1本	
開口定規	1本	



同梱品

施工手順書			

インセット枠

部材	数量	備考
縦枠	1本	鍵付の場合のみ鎌錠受取付済み

同梱品

MSビス	ビスキャップ		

□引き込みポケット戸(上吊)

forインセット枠

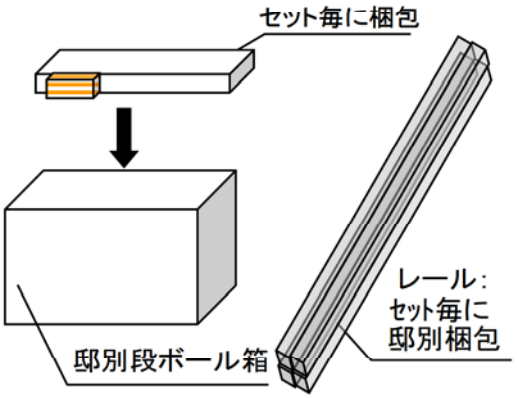
施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

■ 製品及び同梱内容の確認

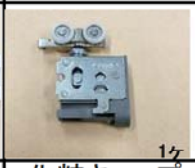
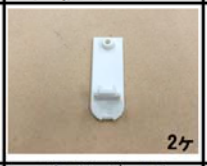
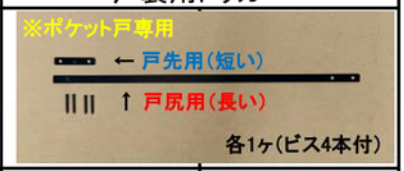
● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

下地金物箱

部材	数量	備考
金物箱	1式	
レール	1式	



同梱品

戸袋用上レール	上ローラー	デュアルソフトクローザー
		
戸袋用エンドプレート	化粧キャップ	戸袋用トリガー
		
スパナ	床付ガイド	

（注）エンドプレートは2サイズありますのでご注意ください。
ポケット戸用（A＝25mm）と、片引き戸用を含むその他の引き戸用（A＝23mm）です。
取付ける際は引き戸の種類とエンドプレートのサイズをご確認ください。

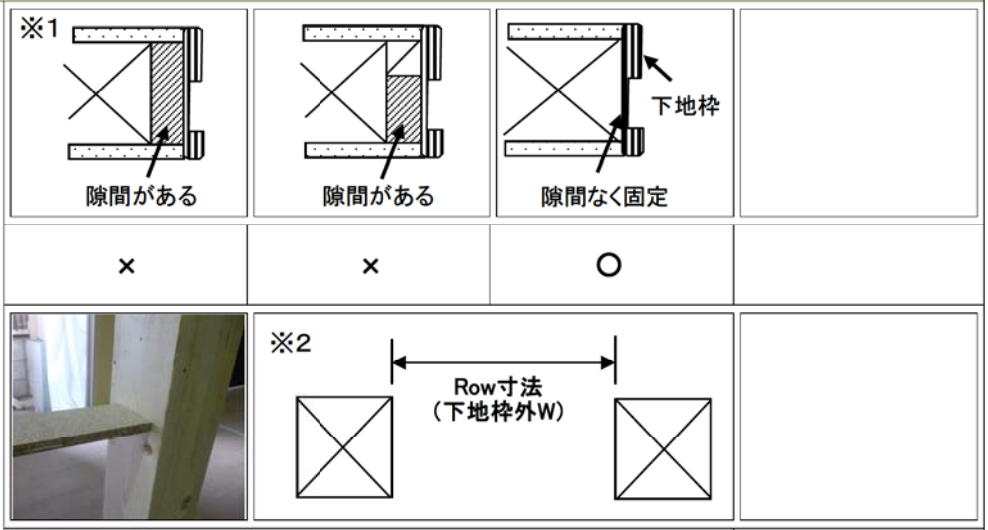
□引き込みポケット戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

1 施工前の確認事項

① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ＲＯＷ寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）



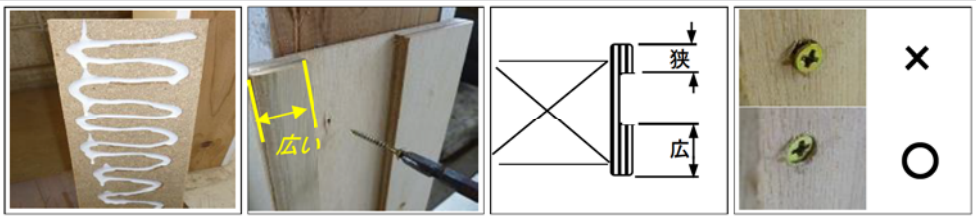
下地枠外Wの開口枠定規にて開口の確認

注意

※1：下地枠は躯体（構造材）と面接合する様に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
※2：施工前のW寸法確認には、同梱の下地枠外W寸法確認用の開口定規を使用してください。
※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

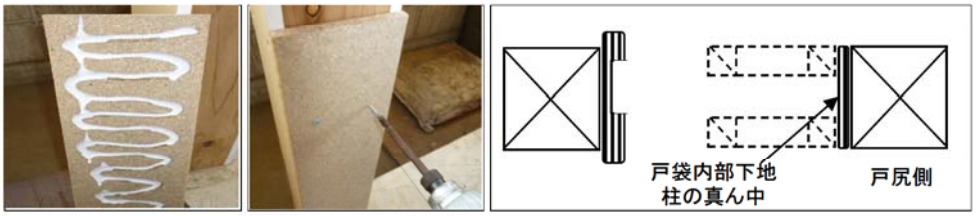
2 縦枠下地・片方立下地の取り付け

① 縦枠下地を接着剤・取り付けビス（現場手配品）併用にて躯体に固定します。（壁厚の真ん中に取り付けてください）
なお、縦枠下地の向きは、図のように手前が縦枠下地の巾が広い方となります。



下地裏面に接着剤全面塗布 | 下地表よりビス固定（Ｌ勝手の場合） | 縦枠下地の取り付け向き（L勝手の場合） | ビス固定の方法

② 戸袋内部下地を接着剤・取り付けビス(現場手配)併用にて躯体に固定します。(柱の真ん中に取り付けます)



下地裏面に接着剤全面塗布 | 下地表よりビス固定 | 戸袋内部下地の取り付け位置

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

□引き込みポケット戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

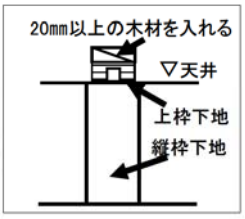
3-1 上枠下地の取り付け（上枠勝ち納まりの場合）

① 上枠下地を接着剤・取り付けビス（現場手配品）併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります)その際、上枠下地の裏側には20㎜以上の木材を入れてください。

下地裏面に接着剤全面塗布

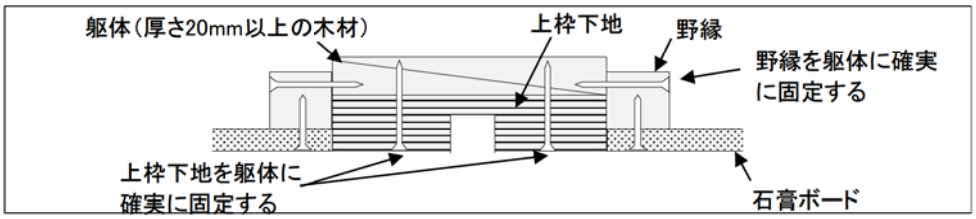
縦枠勝ちに納める

下地表よりビス固定



上枠下地の裏には
20㎜以上の木材を入れる

② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁に石膏ボードを取付ける

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。
※上枠下地の裏側には、必ず20㎜以上の木材を入れてください。
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

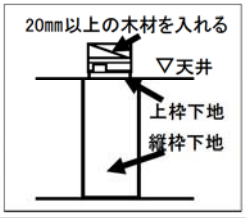
3-2 上枠下地の取り付け（天井ボード勝ち納まりの場合）

① 上枠下地を接着剤・取り付けビス（現場手配品）併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります)その際、上枠下地の裏側には20㎜以上の木材を入れてください。

下地裏面に接着剤全面塗布

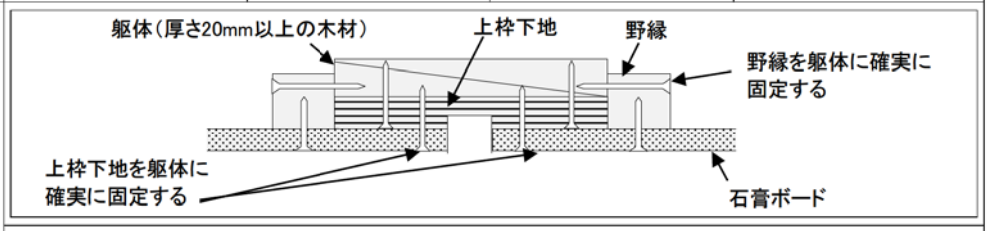
縦枠勝ちに納める

下地表よりビス固定



上枠下地の裏には
20㎜以上の木材を入れる

② 野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードをレール溝に合わせて野縁と上枠下地に固定してください。



石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁と上枠下地に石膏ボードを取付ける

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。
※上枠下地の裏側には、必ず20㎜以上の木材を入れてください。
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

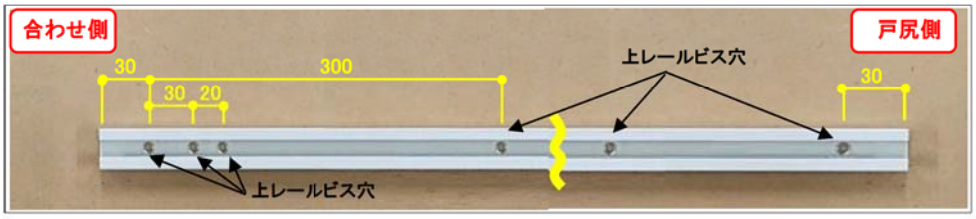
□引き込みポケット戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

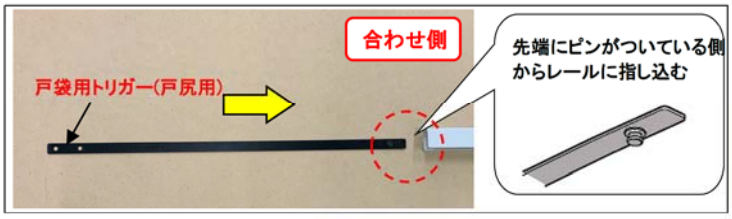
4 戸袋用上レール【戸尻側】・戸袋用トリガーの取り付け

① 戸袋用上レール【戸尻側】を取り付ける際、取付向きを確認して付属の上レール取付ビスで固定してください。
※小壁を立てる前に必ず取り付けてください。
※戸袋用上レールは別途梱包にあります。



取り付け向きを確認し、小壁を立てる前に戸袋用上レール【戸尻側】を取付ける
※戸袋用上レール裏面の「戸尻側」「合わせ側」のシールを確認
※戸袋用上レール【戸尻側】の長さは DW-2mm

② 戸袋用トリガー(戸尻用)の先端にピンがついている側から戸袋用レール【戸尻側】内に差し込み、合わせ側の端面まで差し込んでください。



戸袋用トリガー(戸尻用)を戸袋用上レール【戸尻側】に差し込む
※**長い**トリガーが戸袋用トリガー**(戸尻用)**

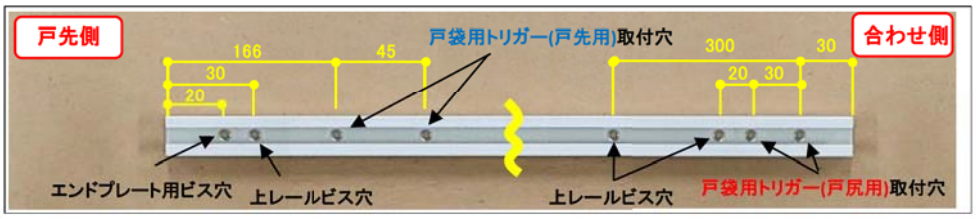
戸袋用トリガー(戸尻用)は合わせ側の端面まで差込む

注意

※レール内にゴミやアルミの切粉などはきれいに取り除いてください。
※上レールの取付ビスの締め過ぎやビス頭の出っ張りに注意してください。（ソフトクローザーが誤作動することがあります）
※戸袋用レール【戸尻側】と【戸先側】の合わせ面にズレや段差できないようにに取付けてください。(ソフトクローザー誤作動の原因となります)
※小壁を立てる前に、必ず袋用上レール【戸尻側】を取り付けてください。（後から取り付けはできません）
※小壁施工後に戸袋用トリガー(戸尻用)を取り付ける際は、ドライバーの軸長さは１００mm以上のものをご使用ください。
（ドライバーの軸長が短いとビス頭が斜めに取り付けられてソフトクローズが干渉し、破損の原因となります。）

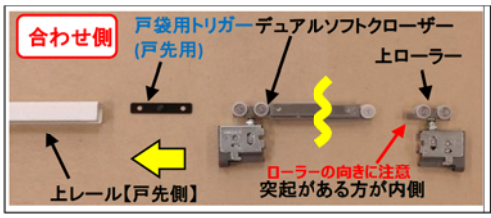
5 戸袋用上レール【戸先側】・戸袋用トリガーの取り付け

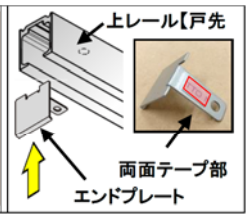
① 戸袋用上レール【戸先側】を取り付ける際、取付向きを確認して付属の上レール取付ビスで固定してください。

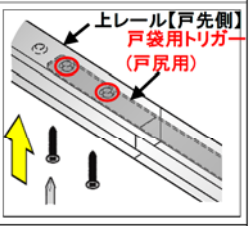


取り付け向きを確認し、戸袋用上レール【戸先側】取付ける
※戸袋用上レール裏面の「合わせ側」のシールを確認

② 各部品の向きに注意し戸袋用トリガー(戸先用)、デュアルソフトクローザー、上ローラーの順で戸袋用上レール【戸先側】に差し込み後、上枠へ取付ける。その際、戸袋用トリガー(戸尻用)をドライバー等を使用しスライドさせ、上レール【戸先側】内に挿入し、戸袋用トリガー(戸尻用)取付穴にビス止めしてください。







戸袋用トリガー、デュアルソフトクローザー、上ローラーを戸袋用上レール【戸先側】に差し込み後、上枠へ取付ける

エンドプレートを上レール【戸先側】の端部に両面テープで仮止めし、レールと一緒に固定する

長い戸袋用トリガー(戸尻用)をスライドさせ、**上レール【戸先側】**に挿入し、戸袋用トリガー(戸尻用)取付穴に合わせて、固定する

注意

【下記内容はソフトクローズ機能の破損、誤作動の原因となりますので十分にご注意の上、施工してください】
※戸先側レールに取付ける短いトリガーもポケット戸専用になります。ポケット戸以外で使われているトリガーは使用できません。
※上レールの取付ビスの締め過ぎやビス頭の出っ張りに注意してください。
※戸袋用レール【戸尻側】と【戸先側】の合わせ面にズレや段差できないようにに取付けてください。
※上レール内のゴミやアルミの切粉などはきれいに取り除いてください。
※トリガーはレールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーで固定してください。
※トリガーの取付穴には、上レールビスを固定しないでください。

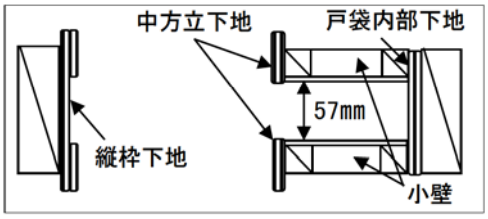
□引き込みポケット戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

6 中方立下地の取り付け

① 戸袋内部に小壁を立てます。
（小壁～小壁の間は57㎜あけてください）



小壁の立て方

② 小壁に、中方立下地を接着剤・取り付けビス（現場手配品）併用にて固定します。（中方立下地は、床仕上げ面から上枠下地の下端までの長さです）

下地裏面に接着剤全面塗布

下地表よりビス固定

ビスの止め方
×

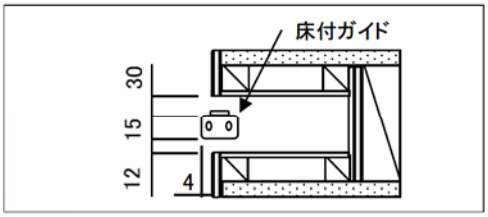
ビスの止め方
○

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

7 ガイドの取り付け

① ガイドを取り付けます。
金物は別途梱包にあります。



床付ガイドの取り付け

注意

※ガイドを取付ける際、下穴をあけてから取付けを行ってください。

□引き込みポケット戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

8 巾木・クロス施工

① 巾木を接着剤にて、縦枠下地のシャクリ部分の手前までまわしてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)

接着剤全面塗布

巾木の取り付け方

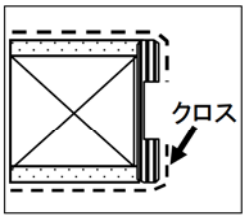
巾木の取り付け方 ×

巾木の取り付け方 ○

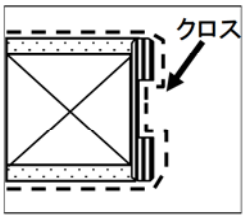
② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。（メッシュ＋下塗り＋上塗りをお奨めします）
その際に、下地のシャクリ部分までクロスを巻き込んでください。

メッシュテープ貼り

パテ処理



クロスの貼り方 ×



クロスの貼り方 ○

注意

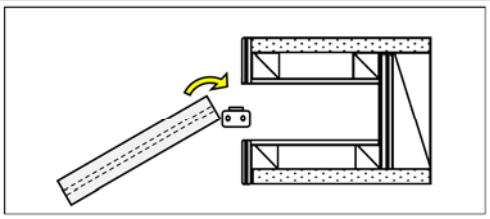
※上枠下地の上レール溝部分は、クロスを貼り伸ばしてレール溝に巻き込んでください。

9 建具の吊り込み

① 先ず戸尻側のみ、建具上部のケーシングと上レール内の上ローラーを連結してください。次に建具を回転させながら、建具溝を床付ガイドに差し込みます。

ケーシングと
上ローラーを連結する

パチンの音を確認

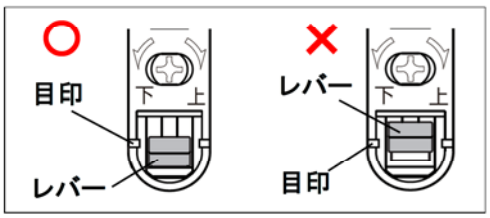


建具を回転させながら
建具溝を床付ガイドに差し込む

② 最後に戸先側のケーシングと上レール内にある上ローラーを連結して、吊り込み完了です。

ケーシングと
上ローラーを連結する

パチンの音を確認



上ローラーのレバーの位置を確認する

注意

※建具を持ち上げる際は天井に建具がぶつからない様に気を付けてください。
※建具を回転させながら、床付けガイドに差し込む際は、床を傷つけない様に気をつけてください。
※上ローラーとケーシングは、パチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと、使用中、外れる恐れがあります。
※吊車を取り外す際、素手では外れない場合は、プライヤー等工具を使用し取り外しを行ってください。
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎるとソフトクローズが利かなくなったり、上ローラーが破損する可能性があるので注意してください。

□引き込みポケット戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

10 インセット枠の取り付け

① インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のＭＳビスにて枠を固定します。全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。

インセット枠固定
(ＭＳビス)

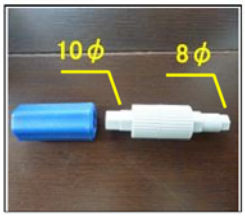
手動ドライバーで完全に固定

注意

※インセット枠は正寸カットにて出荷していますので、現場にてカットしないでください。(床仕上面よりの立ち上りとなります)

11 ＭＳ金物の調整

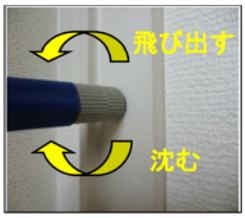
① 枠内寸法を確認し、戸先側のインセット枠に内蔵してあるＭＳ金物を、８φの六角レンチにてロックを解除します。



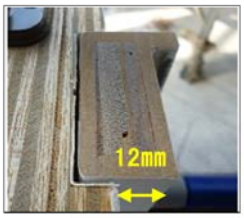
六角レンチ

ロック解除（8φ）

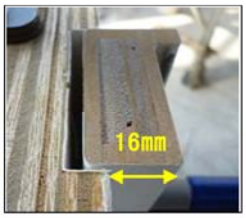
調整は10φの六角レンチで巾方向の調整を行います。(±2.0㎜)
その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、14㎜の設定ですので、12～16㎜の範囲で調整してください。(16㎜以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります)
調整後は8φ六角レンチにて、必ずロックしてください。



左右の調整（10φ）
(±2㎜)



引っ込めた状態
(見付１２㎜)



飛び出した状態
(見付１６㎜)

ロック（8φ）

注意

※枠出荷時にはロックが掛かっていますので、必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。
(ロックを解除しないで調整を行うと、MS金物が破損する恐れがあります)

□引き込みポケット戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

12 上ローラー・鎌錠受けでの調整

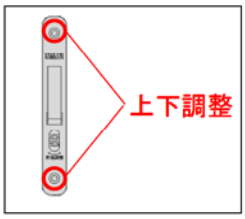
① 吊り込み後に上ローラーで調整をする際は、上下調整は下側のネジ、左右調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。

上ローラー
上下の調整

上ローラー
左右の調整

【調整範囲】
上方向3.0㎜
下方向4.0㎜
左右方向±2.0㎜

② 鎌錠受けにて調整する場合、上下調整は上下の固定ビスを緩め、鎌錠受けを手で上下に動かしてください。前後の調整は、内側にあるビスをまわして調整を行ってください。



上下の調整

前後の調整

注意

※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。
※ソフトクローズ機能の調整はできません。

15 化粧キャップとビスキャップの取付け・跳ね上がり防止ナットの固定

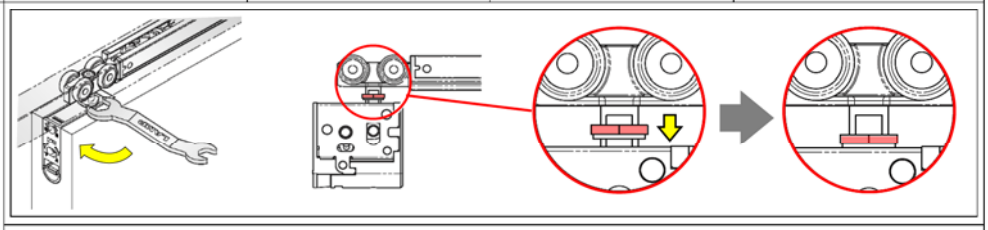
① 全ての調整を終えたら、化粧キャップを取付けてください。外す場合は、化粧キャップの溝にマイナスドライバー等を差し込み外してください。
同梱のビスキャップをインセット枠の穴にはめ込みます。すべての穴に取り付けてください。

化粧キャップを取付ける

※化粧キャップを外す場合
化粧キャップの溝に
マイナスドライバー等を
差し込み外す

ビスキャップの取り付け

② 両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締めてください。



両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締める

注意

※跳ね上がり防止ナット必ず締めてください。締め忘れは、故障・破損の原因になります。
※跳ね上がり防止ナットは締めすぎないでください。締めすぎると扉が下がり調整がずれます。

□2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠

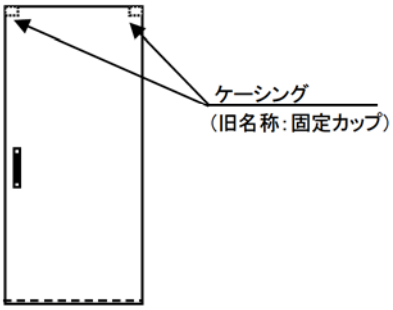
施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具

部材	数量	備考
引き戸	2枚	引手取付済み(スリット手掛けタイプはなし) ケーシング取付済み



同梱品

(注)
エンドプレートは2サイズありますのでご注意ください。
ポケット戸用(A=25mm)と、片引き戸用を含むその他の引き戸用(A=23mm)です。
取付ける際は引き戸の種類とエンドプレートのサイズをご確認ください。

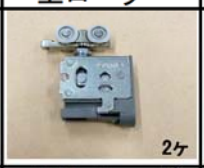
インセット枠

部材	数量	備考
縦枠	2本	

同梱品

上レール

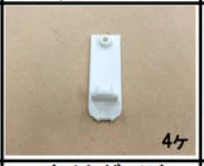
上ローラー



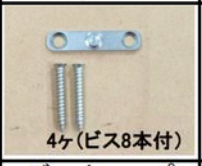
デュアルソフトクローザー

エンドプレート

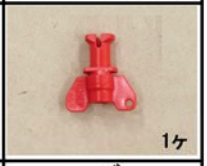
化粧キャップ



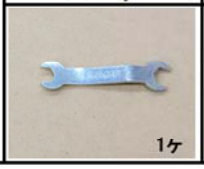
トリガー



トリガー取付治具



スパナ



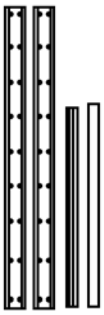
床付ガイド

ビスキャップ

MSビス

下地枠

部材	数量	備考
縦枠下地	2本	
上枠下地	1本	
開口定規	1本	



同梱品

施工手順書

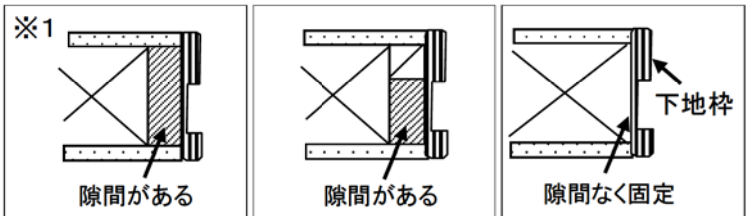
□2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠

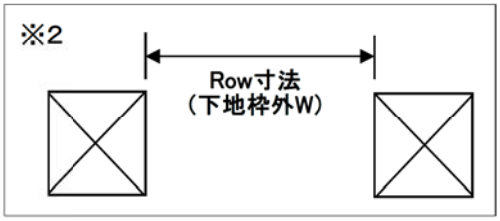
施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

1 施工前の確認事項

① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ＲＯＷ寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）



×	×	○



下地枠外Wの開口枠定規にて開口の確認

注意

※1：下地枠は躯体（構造材）と面接合する様に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
※2：施工前のW寸法確認には、同梱の下地枠外W寸法確認用の開口定規を使用してください。
※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

2 縦枠下地の取り付け

① 縦枠下地を接着剤・取り付けビス（現場手配品）併用にて躯体に固定します。（壁厚の真ん中に取り付けてください）

下地裏面に接着剤全面塗布	下地表よりビス固定	ビス固定の方法 ×	ビス固定の方法 ○

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛びさないようにしてください。

□2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

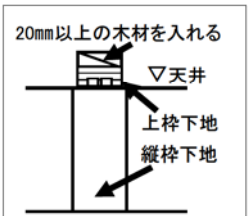
3-1 上枠下地の取り付け（上枠勝ち納まりの場合）

① 上枠下地を接着剤・取り付けビス（現場手配品）併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。（縦勝ちに納まります）その際、上枠下地の裏側には20㎜以上の材木を入れてください。

下地裏面に接着剤全面塗布

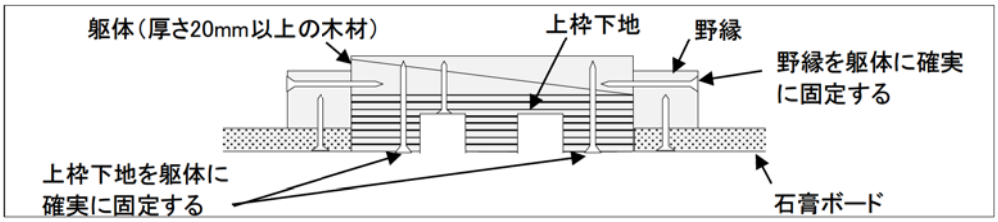
縦枠勝ちに納める

下地表よりビス固定



上枠下地の裏には
20㎜以上の木材を入れる

② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁に石膏ボードを取付ける

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛びさないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。
※上枠下地の裏側には、必ず20㎜以上の木材を入れてください。
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

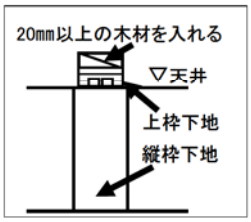
3-2 上枠下地の取り付け（天井ボード勝ち納まりの場合）

① 上枠下地を接着剤・取り付けビス（現場手配品）併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。（縦勝ちに納まります）その際、上枠下地の裏側には20㎜以上の材木を入れてください。

下地裏面に接着剤全面塗布

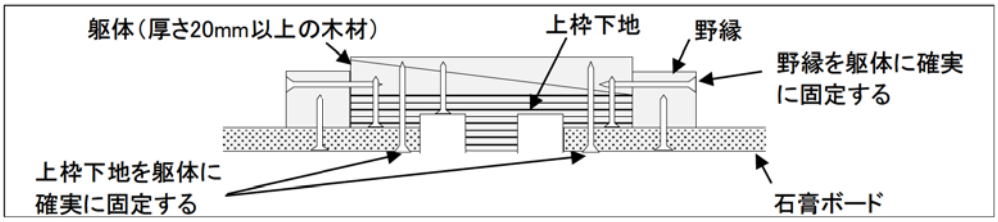
縦枠勝ちに納める

下地表よりビス固定



上枠下地の裏には
20㎜以上の木材を入れる

② 野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードをレール溝に合わせて野縁と上枠下地に固定してください。



石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁と上枠下地に石膏ボードを取付ける

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にてビス止めを行ってください。
※上枠下地の裏側には、必ず20㎜以上の木材を入れてください。
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

□2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

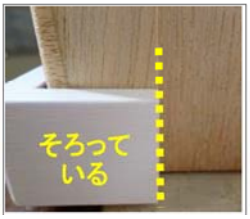
4 巾木・クロス施工

① 巾木を接着剤にて、縦枠下地のシャクリ部分の手前までまわしてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)

接着剤全面塗布

巾木の取り付け方

巾木の取り付け方
×

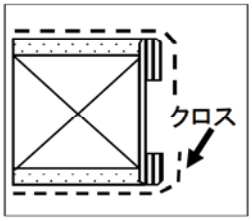


巾木の取り付け方
○

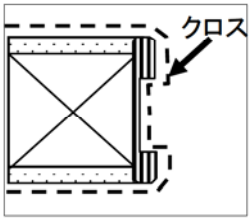
② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。（メッシュ＋下塗り＋上塗りをお奨めします）
その際に、下地のシャクリ部分までクロスを巻き込んでください。

メッシュテープ貼り

パテ処理



クロスの貼り方
×



クロスの貼り方
○

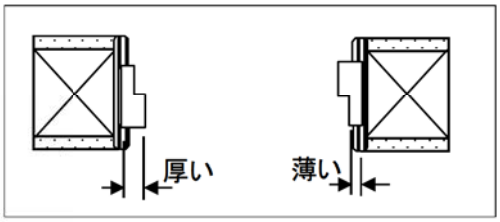
注意

※上枠下地のレール溝部分は、クロスを貼り伸ばしてレール溝に巻き込んでください。

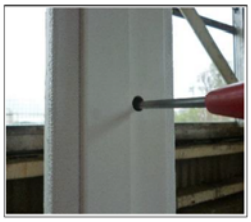
5 インセット枠の取り付け

① インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のＭＳビスにて枠を固定します。（向って左側はインセット枠断面が厚い方、右側は薄い方）全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。

インセット枠固定
（ＭＳビス）



インセット枠の向き
向って左側が厚い方、右側が薄い方



手動ドライバーで
完全に固定

注意

※インセット枠は正寸カットにて出荷していますので、現場にてカットしないでください。(床仕上面よりの立ち上りとなります)

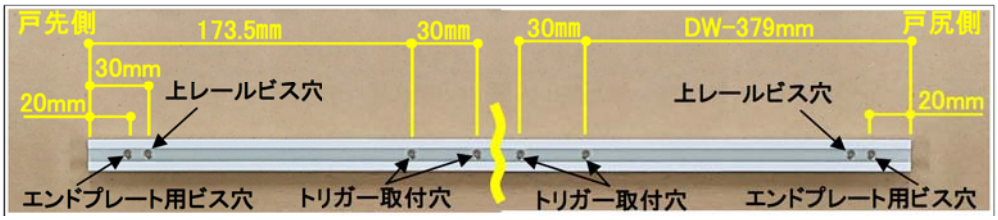
□2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

6 上レールの取り付け

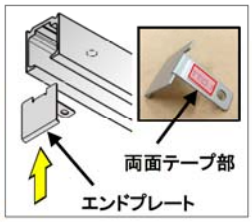
① 上レールを取り付ける際、戸先側・戸尻側の向きを確認してください。(両側ソフトクローズ付の為、両側にトリガー穴加工がされていて、距離の短い方が戸先側になります)
上レールは別途梱包にあります。



上レールの戸先側・戸尻側の向き確認

② 上ローラーを上レール内部に入れてください。(デュアルソフトクローザーが戸先側、上ローラーが戸尻側)上レール端部にエンドプレートを両面テープで仮止めしてください。
付属の取り付けビスで、上レールとエンドプレートを固定してください。

上ローラーを上レールに入れる



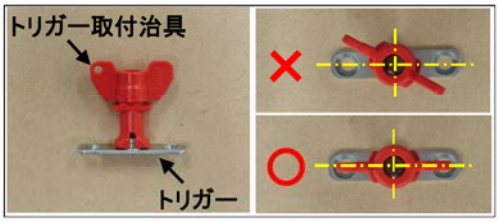
エンドプレートを両面テープで仮止めし、上レールと一緒に固定する

注意

※戸尻側の吊車の向きに注意してください。(突起がある方が内側)
※上レールの取付ビスの締め過ぎやビス頭の出っ張りに注意してください。（ソフトクローザーが誤作動することがあります）
※トリガー取付け穴には、上レールビスを固定しないでください。
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎると金物が破損する可能性があるので注意してください。

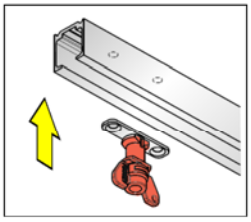
7 トリガーの取り付け

① トリガーを取付治具にセットします。

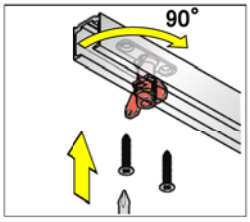


トリガーをトリガー取り付け治具にセット

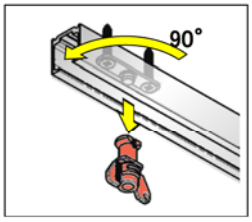
② トリガーをトリガー取付穴に合せてください。
治具を90°回し、トリガーを付属ねじで取付けてください。
治具の向きを戻し外してください。



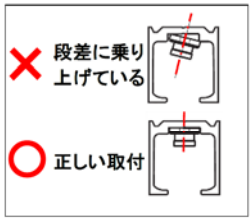
トリガーの穴を合わせる



治具を90°回し、トリガーを取付ける



治具を外す



注意

※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。
※トリガーは上レールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーにて固定してください。

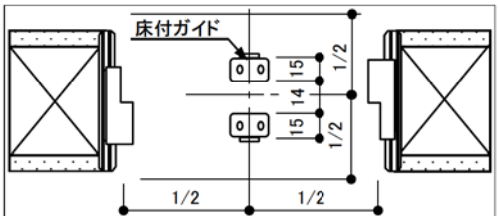
□2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

8 ガイドの取り付け

① タイプに応じたガイドを取り付けます。
金物は別途梱包にあります。



床付ガイドの取り付け

注意

※ガイドを取付ける際、下穴をあけてから取付けを行ってください。

9 建具の吊り込み

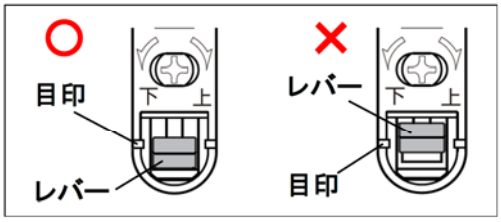
① 建具下の溝をガイドに差し込みます。

建具溝に
床付ガイドを差し込む

② 建具を起こしていきながら、建具上部のケーシングと上レール内の上ローラーを連結して、吊り込み完了です。

ケーシングと
上ローラー連結する

パチンの音を確認



上ローラーのレバーの位置を確認する

注意

※建具を持ち上げる際は天井に建具がぶつからない様に気を付けてください。
※上ローラーとケーシングは、パチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと使用中、外れる恐れがあります。
※上ローラーを取り外す際、素手では外れない場合はプライヤー等の工具を使用して取り外してください。
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎるとソフトクローズが利かなくなったり、上ローラーが破損する可能性があるので注意してください。

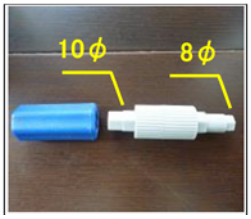
□2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

10 ＭＳ金物の調整

① 枠内寸法を確認し、戸先側のインセット枠に内蔵してあるＭＳ金物を、８φの六角レンチにてロックを解除します。



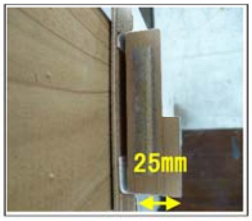
六角レンチ

ロック解除（8φ）

② 調整は10φの六角レンチで巾方向の調整を行います。(±2.0㎜)
その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、14㎜の設定ですので、12～16㎜の範囲で調整してください。(16㎜以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります)
調整後は8φ六角レンチにて、必ずロックしてください。

左右の調整（10φ）
（±2㎜）

引っ込めた状態
（見付21㎜）



飛び出した状態
（見付25㎜）

ロック（8φ）

注意

※枠出荷時には、ロックが掛かっていますので必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。
（ロックを解除しないで調整を行うと。MS金物が破損する恐れがあります）
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎるとソフトクローズが効かなくなったり、吊車が破損する可能性があるので注意してください。

11 上ローラーの調整

① 吊り込み後に上ローラーで調整をする際は、上下調整は下側のネジ、左右調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。

上ローラー
上下の調整

上ローラー
左右の調整

【調整範囲】
上方向3.0㎜
下方向4.0㎜
左右方向±2.0㎜

注意

※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。
※クローズ機能の調整はできません。

□2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

12 化粧キャップとビスキャップの取付け・跳ね上がり防止ナットの固定

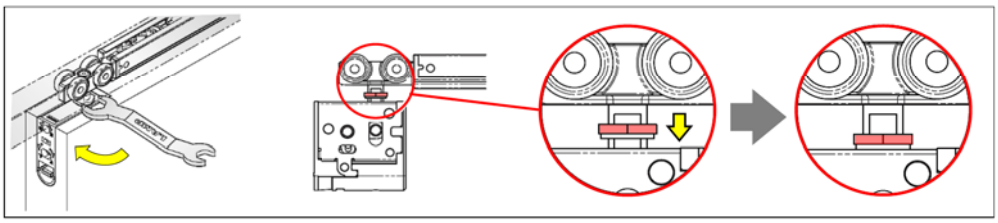
① 全ての調整を終えたら、化粧キャップを取付けてください。外す場合は、化粧キャップの溝にマイナスドライバー等を差し込み外してください。
同梱のビスキャップをインセット枠の穴にはめ込みます。すべての穴に取り付けてください。

化粧キャップを取付ける

※化粧キャップを外す場合
化粧キャップの溝にマイナスドライバー等を差し込み外す

ビスキャップの取り付け

② 両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締めてください。



両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締める

注意

※跳ね上がり防止ナット必ず締めてください。締め忘れは、故障・破損の原因になります。
※跳ね上がり防止ナットは締めすぎないでください。締めすぎると扉が下がり調整がずれます。